

● 掲示板

三五回生の竹邑類氏演出のミュージカルと芝居の公演案内。▼十二月二・七日6時30分開演、三千円、エッセイ・ミュージカル「江分利満氏の優雅な生活」主演・友竹正則、銀座「ラ・ボエラ」で。

▼一月十一・二十四日6時30分開演、三千円、「バタフライはフリー」主演・加藤健一。新宿「シアター・トップ」で。問合せは816-0157（スーパ・カムパニイ）または402-3615（自宅）へ。

● 同期会をしました

▼三〇回〓五月十八日、新宿センタービル「大成クラブ」
▼三三回〓五月二十五日、渋谷東急文化会館
▼三四回〓七月十三日、K D新宿会館
▼三八回〓十月二十六日、赤坂「土佐」
▼四二回〓十一月十六日、有楽町「高尾」
▼四五回〓四九回合同〓九月二十七日、有楽町「大雅」

● 編集後記

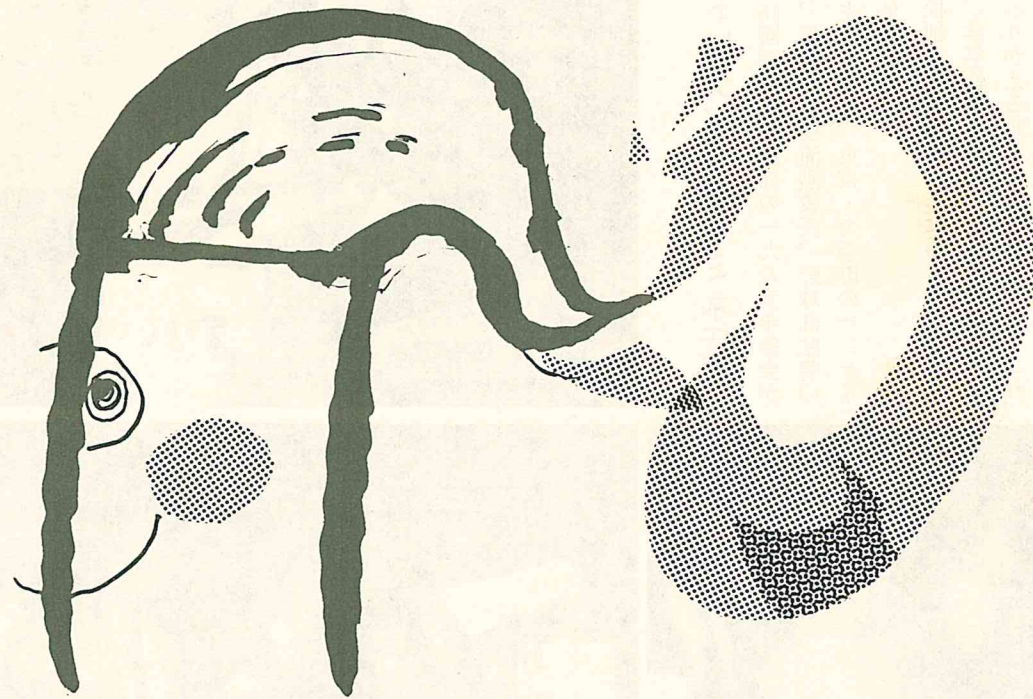
土佐中・高関東支部会員の親睦を深めるために、最低、年一回、会報『筆山』を出すことになった。三七回生の黒川雄爾さんではないが、同窓生よ、助け合おう、というわけである。

とは言っても、一回生から六〇回生まで、ほぼ六〇歳の年齢的隔りがある。興味も関心も様々なのはあたりまえである。土佐中・高を共通の足場に、とにかく、出すこと、出しつづけること、だと考えている。

一八〇〇の会員がいれば一八〇〇の学生時代があるはずだと思っていた。ところが、一〇〇字アンケートの何と似ていることか。幸福な家庭同様、幸福な学生生活も、一樣に幸福なのかもしれない。『筆山』に関するご意見、感想等をお寄せください。

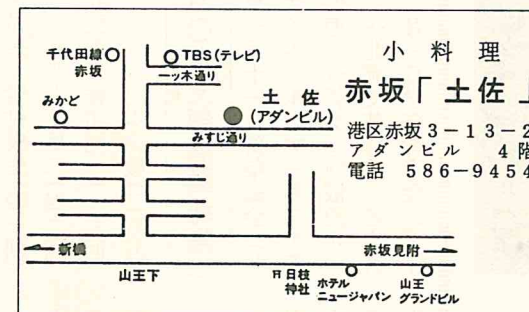
筆山

創刊号 1985・11



土佐中・高同窓会 関東支部会報

〒112 東京都文京区水道1-10-7 同学社気付 ☎03-816-7011



＜土佐高出身のみなさまへ！＞

ますますお元気で各方面に御活躍の由とても嬉しく存じて居ります
銀座のシックでおおらかなお店ですので
お気軽に御利用下さいませ
若くてキレイな子がそろっています……

くらぶ はつとり

銀座8丁目角ゴルフビルB1 571-5333・572-2586

都会の中の小さな土佐

土佐料理 土佐料理

〒104東京都中央区銀座7-6-8(西五番街) ☎572-9640

●赤坂店(赤坂みすじ通り) ☎585-9640
●新宿店(新宿住友三角ビル) ☎344-6585
●渋谷店(シオノギ渋谷ビル) ☎499-0103
新宿幹線亭/新宿区西新宿1-26-2(新宿野村ビル50階)
☎348-2727

いごっそう

東京都港区六本木4-12-7
八森ビル4F
☎03(405)0152・0159

いごっそう本店 高知市追手筋1-10-19
0888-22-1213



酒井芳美

(28回生)

新しいお店にどうぞ
御待ちして居ります

東京都中央区銀座8-7-19(すずりゅうビル4F)
電話 (03) 574-7658 571-9035 西五番街

季節のふるさとの味

土佐酒蔵

東京都中央区銀座7-12-4 サンリード地階
電話 (03) 545-3855 銀座第一ホテル通り



カマス逝くー 92歳！

「カマス」のあだ名で知られる吉本要先生(数学)が七月

三十一日午前零時、心不全のため神戸の自宅で亡くなられた。九十二歳だった。
「……だからして」「愚の骨頂」「母親の方が出来がよかったぞ」などの口癖と竹のムチによる厳しい授業はあまりにも有名。近頃では、米寿の祝いに教え子たちから贈られた杖を何より大事にされていたという。ご冥福をお祈りします。

曾我部校長の 胸像完成す



曾我部清澄校長の胸像が完成し、三月三十日、母校で盛大に除幕式が行なわれた。
胸像は高知県展覧審査員の大野良一氏の製作。台座一・四〇米のブロンズ像で、玄関前に設置されている。

D・ミネ氏の喜寿を祝う会

ディック・ミネさんの「喜寿を祝う会」が十月十七日午後六時から、永田町のキャピトル東急ホテルで開かれた。芸能人ら八百人が出席し、コロムビア・トップらが祝辞を述べ、益々の活躍を祈った。

支部会則の制定へ

二千円の年会費制を導入

各学年の代表幹事による学年幹事会が九月二十一日午後四時から「京橋会館」で開かれ、三十五人が出席して会則案などを討議した。

かれる新年総会で承認を得て発効の段取り。

また、重要案件の審議に当たる学年幹事も一回から二七回まで各一名、二八回以降各二名を原則に決定した。

役員は次の通り。(敬称略)
支部長 北岡龍海(五回)
幹事長 浅井伴泰(三〇回)
副幹事長 溝淵真清(三二回)
同 窪田秀忠(三八回)

六〇年支部活動報告

▼一月十一日新年総会(サンケイホール) ▼一月二十五日関西支部総会(新阪急ホテル) ▼北岡支部長ら二名出席
▼二月一日学年幹事会(ダイ

事務局長 岩村康生(四一回)
会 計 吉井雄二(四九回)
会計監査 曾和純一(一六回)
山本高敬(二五回)

ヤモンドホール)。▼三月三十日母校曾我部校長胸像除幕式に北岡支部長ら二名出席。
▼六月二十七日常任幹事会(十八名・エスカイヤクラブ六本木)。▼七月二十八日母校同窓会総会(高知・三翠園) 浅井幹事長出席。一六回吉沢信一氏、三〇回大町玄氏講演。▼九月二十一日学年幹事会(三十五人・京橋会館)。

* * *

関東支部ではこの胸像建立資金の寄付を募りましたが、三六三名の方々から七十万円の拠金を頂き、本部の建立実行委員会に送りました。ご協力ありがとうございました。



350人が会った、飲んだ、話した！

しゃべくった

おうた

'85新年総会風景



●ゲストにディック・ミネ氏も

土佐中・高同窓会関東支部の一九八五年総会が一月十一日、母校から松浦勲校長、野球部監督の籠尾良雄両先生を迎え、東京・大手町のサンケイホールで開催された。

今年は母校創立六五周年にあたるため、盛大な会とすべく、学年幹事を決め、土佐高野球部の栄光の歴史をふりかえるビデオ上映を行った。これが効を奏してか、空前の三五〇名の出席を得、大盛況だった。また、初代三根校長の子息、ディッ



ゆたかなくらしのパートナー……

四国銀行

有利で便利な
優 期日指定定期みつば
●1年複利で高利回り / ●1年間の据置後は明日自由 /

ムリなく貯まる
優 自動積立定期ふゆみ
●1回ごとのお預け入れを「みつば」でお積み立て /



どうぞよろしく /
〈四銀〉の強力コンビです。

●今、こんなことをやっています

茶園で有名な牧ノ原台地のすぐ近くに、わたくし共の関係している社会福祉法人『やまばと学園』の施設（重度精神薄弱児と重度精神薄弱者の施設、特別養護老人ホーム、心身障害者小規模作業所等）が点在している。

障害を負った人々と共に

35回Kホーム

長沢 道子
(旧姓・栗原)

最初の施設の開園は一九七〇年。知恵おくれの子らの人格の尊重と可能性の追求、地域の中で地域の人々と共に、を掲げて始まった。わたしは創設期の苦労はあまり知らない。わたしが現場に入ったのは一九七七年、この法人の責任者である長沢巖（本職は牧師）と結婚してからやまばとのめざすものである。新婚早々、障害や残念なことに、最前線に立つ

ていた夫は予期せぬ障害を負い療養中、しかし、人格の尊重という課題のために今後も励みたい。

やまばとでは、土佐高先輩の大原佳春さん（三二回生）も働いており、皆さまの中に、どんな形ででも協力してくださる方がいらっしやればうれしく思います。
〒421-04 静岡県榛原郡榛原町 坂部396-2
長沢 道子
(電) 05482-90258



筆山会だより

●宮地次官の就任を祝う会

文部省事務次官に就任した宮地貫一氏（二一回生）を祝う筆山会（関東支部有志の会）の祝賀会が十月十八日午後六時より、新橋第一ホテルで開かれ、同窓四十八人が出席した。

大学関係では北村旦（阪大・一八回）、門脇稔（神奈川歯科大・二五回）、森下巖（東大・二八回）、久武慶蔵（神奈川歯科大・三〇回）、岡村甫（東大・三二回）、久保内端郎（東大・三三回）の各教授や文部省関係者が次々と祝辞を述べ、門脇教授の司会のもと、のど自慢や「六甲おろし」までとびだして和気あいあいの雰囲気だった。

●三根校長墓参の会

筆山会の第十回三根校長墓参の会は七月十三日午後、例年通り多摩墓地―深大寺のコースで行なわれ、十三人が出

席、墓参の後ソバ屋での懇親会を開いた。

●筆山会ゴルフコンペ

第八回筆山会ゴルフコンペは六月二日埼玉・北武蔵CCで行なわれた。参加者は十八名で、うち三〇回生が遠く鳥取からの参加も含めて十二名と活発。優勝は三三回生の沢村良節氏だった。

①沢村良節71 (21) 三三回
②新階 尚72 (15) 三〇回
③千原 宏73 (24) 三〇回
④藤田 章74 (15) 三〇回
⑤浜崎 洸一75 (28) 三三回
B G 新階 尚87 44、43
なお、第九回コンペは十一月二十四日、千葉・総武CCで行なわれた。

●筆山会月例会のご案内

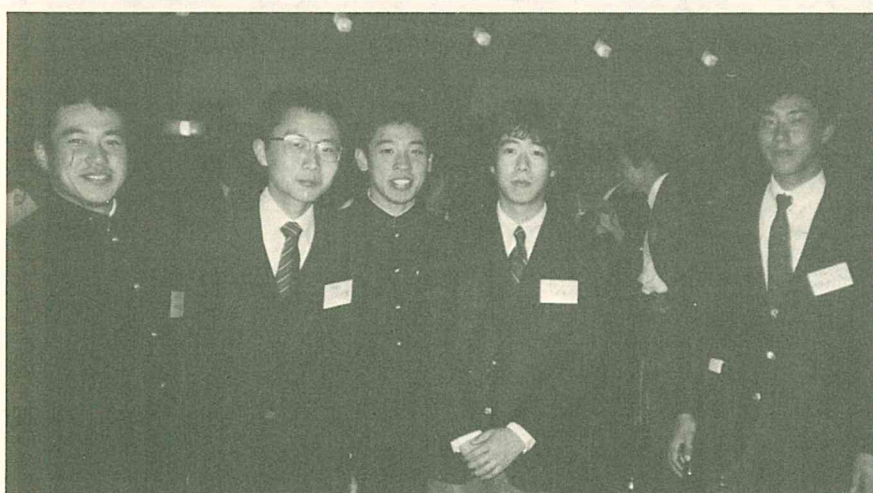
筆山会月例会は毎月第三木曜日午後十二時十分より、銀座「ねぼけ」で。会費二千五百円程度。

●筆山会忘年会のご案内

筆山会忘年会は十二月十三日（金）午後六時より、銀座「ねぼけ」で。会費一万二千元。



ク・ミネ氏も駆けつけられ、華を添えた。母校は集いて思うもの、とばかり、飲むほどに、酔うほどに、土佐人の本領発揮、いささかも訛らぬ土佐弁で高談し、友情を暖めあった。なお当夜の模様は地元TV二社のニュースで放映された。



弁護士 浅井 和子 (35回生)

〒105
東京都港区西新橋 1-6-21
大和銀行虎の門ビル7階 TEL(591)5461
新明・下山田・浅井・山森法律事務所

日鐵建材工業株式会社

03-(542)-8127 (ダイヤルイン)
ファクシミリ 03-(545)-8574

建材営業部 Uコラム室
課長

和田 徹 (37回生)

本社 東京都中央区銀座7丁目16番3号(日鐵本機ビル) 〒104

エレクトロニクス革命の最前線で、
夢を現実に変えてゆく。
カシオは第三の波の頂点に立つ。

CASIO

取締役開発部長 羽 方 将 之
(38回生)

株式会社 日本テクナート

株式会社 日本アステック

代表取締役 小 島 三 郎 (40回生)

取締役営業部長 門 田 健 一 (43回生)

〒168
本社 東京都杉並区和泉4-51-15(千代田ビル)
本部 東京都杉並区和泉4-42-32(中根ビル)
TEL 03(313)7251・FAX.03(318)4356

六本木司法書士合同事務所

司法書士 横原 温 幸 (41回生)

司法書士 鶴 和 千秋 (41回生)

〒106 東京都港区六本木五丁目16番8号
吾妻ビル7階 電話 03(586)6276(代表)

住まいの新しい形を創る
住宅・アパート・マンション・建売住宅・分譲地

部長 片 岡 勇 征 (34回生)

積水ハウス株式会社

〒160 東京都新宿区西新宿1-10-1 安田生命第2ビル

旅行のことなら海外・国内を問わず
なんでもご相談下さい

運輸大臣登録一般旅行業第142号

株式会社 スペース

取締役社長 竹 内 一 郎
(36回生)

〒102 東京都千代田区九段北4-1-32
TEL・(03)263-7661(代表)

メガネ、コンタクト、補聴器のことなら
何でもご相談下さい。
世界一のメガネ店と松下幸之助氏激賞ノ

全国37店舗 富士メガネ 大手町店

取締役店長 窪 田 秀 忠

千代田区大手町1-6-1 大手町ビル
TEL 03-214-4751 日祭日(休み)

セキシステムサプライ株式会社

〒157 東京都世田谷区粕谷1-17-17 ☎03-329-5421(代)
株式会社 セ キ 大阪本社
〒567 大阪府摂津市島刺下2-1-1 ☎0726-54-3733(代)
株式会社 セ キ 東京支店
〒227 横浜市緑区長津田町5752 ☎045-921-9121(代)

取締役社長 関 雅 夫
(39回生)

弁護士

田 村 公 一
(41回生)

〒107 東京都港区南青山2丁目11番14号
イチーズビル五階
南青山総合法律事務所
03-403-5708

支部会報『筆山』発刊にあたって

母校発展を願って

支部長 北岡 龍海



土佐中も戦後経済の変革に
応じ、高校を併設拡大発展し、
今年で六五年を経過した。こ
の間卒業生は一一〇〇人に
達し、約一万近い同窓が社会
の各般に活躍している。その
約二割の一八〇〇余名は関東
地方に在住し、各界でそれぞ
れ重要な役割を果たしている。
最近有識者の間で高知県教
育界の低調が憂慮されている。
高知県教育界の先導としての
土佐中・高の奮起が望まれる。
吾々同窓の母校への協力と激
励はこれに大変重要な意義を
持つものと思う。同窓会発展

同窓会は橋

幹事長 浅井 伴泰



同窓会は橋です。時間とい
う川の流れに隔てられ兩岸に
立つ学校と卒業生をつなぐ橋
です。橋には丸木橋や吊橋も
ありますが、橋が危つかしい
と、誰も渡りません。した
がって学校と卒業生は疎遠に
なります。地理的に離れてい

ればなおさらです。相互に安
心して気楽に渡れる橋が望ま
れるわけです。
関東支部の会員数も二千人
の大会に迫ってきました。六
回生の近藤さんをはじめ諸先
輩が築かれた土台の上に立ち、
支部活動が最近盛んになった
ことは喜ばしいことです。こ
れも近年転換期にあると云わ
れる母校を思うわれわれみん
なの心の表れではないでしょ
うか。
このたびは長年の念願がか
ない文芸部OBの小松さんを
中心とする若手スタッフで会
報を発行することになりました。
会員一人一人の心をつな
ぎ、母校の発展に役立つ会報
になることを期待します。



創立50周年を記念して、昭和50年に改築された土佐中・高の全景

海の元気だ。

シーフードNOW ニッスイ

税金・相続・利殖の総合コンサルタント

株式会社 明治生命保険代理社

業務推進部長 中田 庸穂

(28回生)

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町2-3
(川島ビル7F) TEL 03-663-4231

ルイ・ヴィトン ジャパン株式会社

代表取締役 秦 郷次郎

(31回生)

東京都港区南青山1-1-1
〒107 新青山ビル
電話 (478) 3694番

Management & Systems Consultants

株式会社 システムズ プランニング

代表取締役 小 倉 璋
(32回生)

本社 東京都新宿区本郷町4番地4 祥平館別館
〒160 電話 03(351)0351
大阪 大阪市淀川区西中島3丁目18番21号 南極ビル3F
事務所 〒532 電話 06(306)5636

日章造園株式会社

代表取締役 澤 村 良 節(33回生)

東京都渋谷区恵比寿西2丁目3番2号
電話=(464)0618(代表) 〒150

「ほんと、イヤねえ。またこんな記事が載ってるわ」と言っ、わが愚妻が眉をひそめながら朝刊を差し出したのは、去る十月二十五日、遅い朝食時のことである。そこには、つぎのような短いニュースが報じられていた。

「東京・上野署は二十四日までに漢方薬会社から一千万円を脅し取ろうとした東京都千代田区麹町一丁目、フリーライターA(四九)を恐喝未遂の疑いで逮捕した」(同日付朝日新聞より)

この朝、ウチのカミさんが表情を暗くしたのも無理はない。縄付きになったと書かれた人物が自分の亭主と同業者だったからだ。

元来、あまりものにこだわらないカミさんだが、それでも亭主の職業の呼称について

は、日頃から腹立たしい思いを抱いている様子で、テレビドラマなんかには「フリーライター」とか「ルポライター」と称する男が悪役で登場すると、ついつい声を荒らげて役柄の設定なんかを批判したりするのである。

かくのごとく、私の商売は「悪名高い」フリーライターということになっている。だが、呼び方はこれだけではなく、場合によっては、「ルポライター」「フリージャーナリスト」「ノンフィクション作家」などと紹介されることも少なくない。

そこで気になるのは、それぞれのネーミングによって仕事の中味に違いがあるのかどうかという点だろう。

「ルポライター」は文字どおりルポルタージュを書く人、

「フリージャーナリスト」は特定の新聞社やテレビ局などに所属せずにジャーナリズムの活動をする人、そして「ノンフィクション作家」はより広い意味でフィクションではないさまざまな分野を扱う文筆家という具合に、一応、定義づけることができる。

しかし、私を含めてこの世界に身を置く人間の多くは、実はこれらの呼び方はほとんど同義語、と受け止めているとみて間違いない。

では、なぜこんなにいくつもの呼称が存在するのか。それはこの仕事を職業とする人たちがそれぞれ自分の好みで別々の肩書を使おうとするからである。

問題は、その「好み」の基準だが、人によっては愛着と一種のこだわりから一つの肩書

「しおた、うしお」

本名・満彦。昭和四十年卒業(四〇回生)。三十九歳。ノンフィクション作家。昭和五十八年に第五回講談社ノンフィクション賞を受賞。埼玉県川越市在住。

詩と音楽の会々長・日本音楽著作権協会理事
日本作曲家協議会・日本童謡協会各理事
大阪音楽大学教授・伊野町名誉町民

作曲家 平井康三郎
(5回生) (本名 保喜)

〒151 東京都渋谷区代々木2-21-10
Phone (03) 370-1991

三菱電機株式会社

代表取締役
名誉会長

進藤 貞和

(3回生)

〒100 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

ノンフィクション作家の思い

—'86年新年総会講演に先立って—

塩田潮

「ほんと、イヤねえ。またこんな記事が載ってるわ」と言っ、わが愚妻が眉をひそめながら朝刊を差し出したのは、去る十月二十五日、遅い朝食時のことである。そこには、つぎのような短いニュースが報じられていた。

「フリージャーナリスト」は特定の新聞社やテレビ局などに所属せずにジャーナリズムの活動をする人、そして「ノンフィクション作家」はより広い意味でフィクションではないさまざまな分野を扱う文筆家という具合に、一応、定義づけることができる。

しかし、私を含めてこの世界に身を置く人間の多くは、実はこれらの呼び方はほとんど同義語、と受け止めているとみて間違いない。

では、なぜこんなにいくつもの呼称が存在するのか。それはこの仕事を職業とする人たちがそれぞれ自分の好みで別々の肩書を使おうとするからである。

問題は、その「好み」の基準だが、人によっては愛着と一種のこだわりから一つの肩書

「しおた、うしお」

本名・満彦。昭和四十年卒業(四〇回生)。三十九歳。ノンフィクション作家。昭和五十八年に第五回講談社ノンフィクション賞を受賞。埼玉県川越市在住。

詩と音楽の会々長・日本音楽著作権協会理事
日本作曲家協議会・日本童謡協会各理事
大阪音楽大学教授・伊野町名誉町民

作曲家 平井康三郎
(5回生) (本名 保喜)

〒151 東京都渋谷区代々木2-21-10
Phone (03) 370-1991

三菱電機株式会社

代表取締役
名誉会長

進藤 貞和

(3回生)

〒100 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号



公文教育研究会

取締役
教育主幹

岩谷 清水

(27回生)

東京都千代田区五番町3番1号 〒102
五番町グランドビル
電話03-234-4651(代)
大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 〒532
公文教育会館
電話06-304-7611(代)

代表取締役
社長

梶田 広人

(30回生)

エロフ ハンソン 株式会社

東京都港区虎ノ門1丁目21番19号
秀和第2虎ノ門ビル 302号
電話 (03) 503-6161(代表)
テレックス 2424404 EHJPN J
ファクシミリ (03) 503-6060

リクルート人材センター

専務取締役 溝渕 真清

(32回生)

労働大臣許可13コサツモ0001号
東京都港区西新橋1-10-2
リクルート西新橋ビル 〒105
電話 03(508)9141(代表)
大阪/電話 06(304)2811

CHRYSL

株式会社クリザールジャパン

代表取締役

西尾 義彦 (33回生)

東京都渋谷区神宮前6-12-20 東洋ビル7F 〒150
テレフォン03-797-5090 ファックス03-797-5098

汎 建築企画

一級建築士事務所

企画室次長 渡 辺 靖 夫

(34回生)

東京都江東区東陽3-8-6
企画室 TEL 647-9205

■8回 安岡 善則

②数学の大野先生の名言二つ。教室に入るなり「随意質問」「問題の解答は敏捷に」。前者は自力で深く予習せよ、後者は問題に取り組んで十二分に考え途中の無駄を省き、簡明最短を目標にせよである。私の数学専攻の基である。

■12回 寺川 博典

②中四の夏、全国中学剣道大会団体戦に土佐中の初参加。西川先生のご尽力と三根校長の特別許可による。初めての京都、初めての対外試合。準準決勝に進む。校長室で報告、先生に大変喜んでいただき、「文武両道」が耳に残った。

■16回 島内 淳

②私のころは寄宿舎があった。消灯後、ひそかに塀をのりこえて菓子パンやアイスクャンデーを買いに行くのだが、往々にして舎監のヘンボ先生につかまって警策を見舞われた。警策には先生のお人柄の温かみがかもつていた。

■28回 M 川村(野中) 愿

①女子の第一回生です。校舎はブラック建のため、入試と入学式は高知商業を借りしました。父が長年教鞭を執っていた学校です。土佐高卒業の翌年、後輩が夏の甲子園野球で準優勝。同級生の夫は朝日新聞の記者。後輩達よ頑張れ!!

■9回 中尾 成彦

②古稀を迎え往事茫茫。六十年前入学した予科から七年間過した校舎も恩師も夢の彼方。時は昭和初期、不況、農村疲弊、思想左右激化の暗い世相の中で楽しい思い出は何もない。軍国主義が忍び寄っていた。今や学友も半数の十五名のみ。

■13回 葛目 尚宏

①松浦現校長と一緒に予科入学した私共は初代三根校長の温容に迎えられ、三学年で青木校長、大嶋教頭に託された。第四代皆我部校長には高知高校で物理学を受講。歴代校長との有難い出会いの場を与えられた母校ではある。

■23回 岡崎 昌生

②昭和十七年開戦の翌春に入學。一年二年はそれでも勉強が主。三年からは日章村のモッコかつぎ、四年の夏空襲で校舎焼失そして終戦、バツク建築で慌しく卒業、早くも四十年を経過。七十名の同級生も案外元気で時々酒を飲む。

■30回 K 原 弘道

①Kホームナリ。勉強に、スポーツに、多くの友達に恵まれたところ。先年同級生が亡くなった時、夜中に電話がとびかった。愚息二人「お父さんが羨しい。僕達は、転校のため、とてもこんな友達はできそうにない」と云った。

■27回 H 石田正一郎

②私は二十一年秋に旧満洲から引揚げて戦災後の旧制一年に編入した者だが、これが憧れの土佐中かと思った第一印象は忘れられない。その後学制改革の波の中で立派に再興したが、その時期に母校に学び得たことに感謝している。

■32回 T 堀内 稔久

①我々の時代は、幸いに、良き「先輩」が多勢おられた。終局的に、土佐高に学んだ恩恵は、先生や同級生ではなくて、先輩により親身な指導薫陶をして貰ったことである。土佐高は、勉強の方法論を指導していく必要がある。

■49回 O 二宮 潔

②中一入学まもなく「この春、白線付けたチビ共が電車の中で喧しいからして……」と職員室でカマスに大目玉。このチビって誰のこと？ 高二の秋からクラス有志で開いたビーパーティ。この輪こそ、49回の和のルーツかも？

■51回 T 中谷 元

②高三の運動会はヤグラを組んだり、ダンスをしたり、夜遅くまでみんな盛り上がる。しかし夜半から台風上陸！ ヤグラも無残に。翌日は授業……某ホームではほとんどの学生が所在不明で大騒ぎ！ 何をやるにも祭の前が最高ですね。

■59回 N 川沢 琢也

①土佐高時代、大人への憧れ、と将来に対する漠然とした不安の中で、僕は何かを追い求めていた。蓮華畑で蝶を追った、幼いあの頃の様に。その蝶が何かも知らず、わからぬままに……。今、胸の奥から、土佐高が僕に微笑みかける。

20人にきいてみました…

100字アンケート

①あなたにとり土佐中・高とは

②土佐中・高の思い出 No.1 は

*回答の頭の数字は、上の質問①、②のいずれに答えたかを示す。

*27回以降のアルファベットはホーム名。

*姓のあとの()内は旧姓。

■33回 O 久保内端郎

①魅力ある豊かな個性を先生、友人の中に見出すことの多かったところ。例えば英語の平林泰人先生。五十年代の実に新鮮な米国の雰囲気を全身にも溢れさせておられた。魅力的刺激的な個性に数多く出会えたことをありがたく思う。

■37回 H 黒川 雄爾

①土佐中・高は、スポーツ、学問に優れ、地元の尊敬もあつて大いなる青春を享受できた。しかし産業、国際化の立ち遅れから経済情報が不足し、卒業生は、必ずしも世渡りに長じていない。四〇歳を越えたら、同窓生よ、助け合おう。

■44回 K 小松 孝明

②やぐらを組んだ体育祭です。特に高三の時の体育祭で黒いセーター(女性はおレンジのワンピース)を着て当時流行っていた「青い影」などを踊ったことが一番の思い出です。今でもあのやぐらを組んだ体育祭は続いているのだろうか。

■49回 O 二宮 潔

②中一入学まもなく「この春、白線付けたチビ共が電車の中で喧しいからして……」と職員室でカマスに大目玉。このチビって誰のこと？ 高二の秋からクラス有志で開いたビーパーティ。この輪こそ、49回の和のルーツかも？

■51回 T 中谷 元

②高三の運動会はヤグラを組んだり、ダンスをしたり、夜遅くまでみんな盛り上がる。しかし夜半から台風上陸！ ヤグラも無残に。翌日は授業……某ホームではほとんどの学生が所在不明で大騒ぎ！ 何をやるにも祭の前が最高ですね。

■59回 N 川沢 琢也

①土佐高時代、大人への憧れ、と将来に対する漠然とした不安の中で、僕は何かを追い求めていた。蓮華畑で蝶を追った、幼いあの頃の様に。その蝶が何かも知らず、わからぬままに……。今、胸の奥から、土佐高が僕に微笑みかける。

■34回 S 安土 正篤

②背筋がピリッとする思い出。中一の初夏の朝、プール脇の道を教室へ急ぐ内気な少年が帽子を目深にかぶったまま誰かとスレ違った直後振り向きザマの大喝一声「コラッ!」名前とクラス名を云え!!」峻厳富田先生との出会いでした。

■39回 S 出来 尚史

②「冬はツンドラ、夏、熱帯」とうたわれた西校舎での授業。カエルと泳いだ藻だらけのプール。運動会に間に合わせようと夜つびで組んだ応援櫓の杉の香。「一心」のうた。ああ、そして、そして、大甲子園のあのどよめき……。

■47回 H 岡部(廣田)美智

①物事には様々な面があり、価値も人によって様々であること、即ち「多様性」の尊重——これが自由の根底にある——こそ土佐校時代に体得したものである。私にとって土佐とは自由と平等の香りのする胸中秘蔵のブランドである。

■59回 N 川沢 琢也

①土佐高時代、大人への憧れ、と将来に対する漠然とした不安の中で、僕は何かを追い求めていた。蓮華畑で蝶を追った、幼いあの頃の様に。その蝶が何かも知らず、わからぬままに……。今、胸の奥から、土佐高が僕に微笑みかける。

圧縮空気除湿装置
吸着精製装置

AUTO-PUREX

丸谷化工機株式会社

専務取締役 山本高敬 (25回生)

〒100 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル

浄水場・下水処理場各種機械設備設計・施工

月島機械株式会社

専務取締役 吉澤信一

(16回生)

〒104 東京都中央区佃2-17-15

TEL 03-533-4111



公立教育研究会

会長 公 文 とおる 公 (7回生)

大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 〒532

公文教育会館

電話 06-304-7611(代)

東京都千代田区五番町3番地1 〒102

五番町グランドビル

電話 03-234-4651(代)

同学社版・新修ドイツ語辞典刊行

株式会社 同学社

取締役社長 近藤久寿治

(6回生)

東京都文京区水道1-10-7

電話(03)816-7011(〒112)